

会議の開催結果

1 会議名	第6回 新居浜駅周辺まちづくり協議会
2 開催日時	平成28年1月15日（金） 14時30分から16時12分まで
3 開催場所	新居浜市保健センター 3階 大会議室
4 会議の概要	<p>新居浜駅周辺のまちづくりについて協議を行っていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回のまとめ ・各会、市民の方々からいただいた意見の紹介 ・整備計画（案）の検討について ・今後の予定
5 公開（全部・部分）・非公開の別	公開（全部）
6 部分公開又は非公開の理由	
7 傍聴人数	0人
8 問い合わせ先	<p>（担当課名）都市計画課 （電話）65-1270 （内線 2435）</p>
9 その他	

第6回 新居浜駅周辺まちづくり協議会次第

日 時：平成28年1月15日（金） 14時30分から
場 所：新居浜市保健センター 3階 大会議室

開 会

- 1 前回のまとめ
- 2 各会、市民の方々からいただいた意見の紹介
- 3 整備計画（案）の検討について
- 4 今後の予定

閉 会

新居浜駅周辺まちづくり協議会 委員

H28.1.15 (第6回)

No.	区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	学識経験者	愛媛大学大学院	教授	吉井 稔雄	
2		愛媛大学	名誉教授	鈴木 幸一	
3	関係事業者又は 団体の者	(一社)新居浜市医師会	会長	中山 恵二	
4		(一社)新居浜市観光協会	専務理事	鎌田 眞太郎	
5		四国旅客鉄道(株)	総合企画本部 担当部長	長戸 正二	
6		新居浜商工会議所	観光まちおこし 委員会委員長	妹尾 次郎	
7		新居浜市女性連合協議会		内田 いより	
8		(公社)新居浜青年会議所	理事長	篠原 大蔵	
9		新居浜市農業委員会	農地部会長代理	篠原 修	
10		新居浜市農業協同組合	常務理事	曾我部 英敏	
11		新居浜市福祉施設協議会	副会長	住友 裕美	
12		松木坂井自治会		相原 悦滋	
13		新居浜市連合自治会	副会長	坂上 公三	
14	公募	市民公募委員1		多田羅 弘美	
15		市民公募委員2		白石 哲也	

新居浜駅周辺まちづくり協議会

第6回

目 次

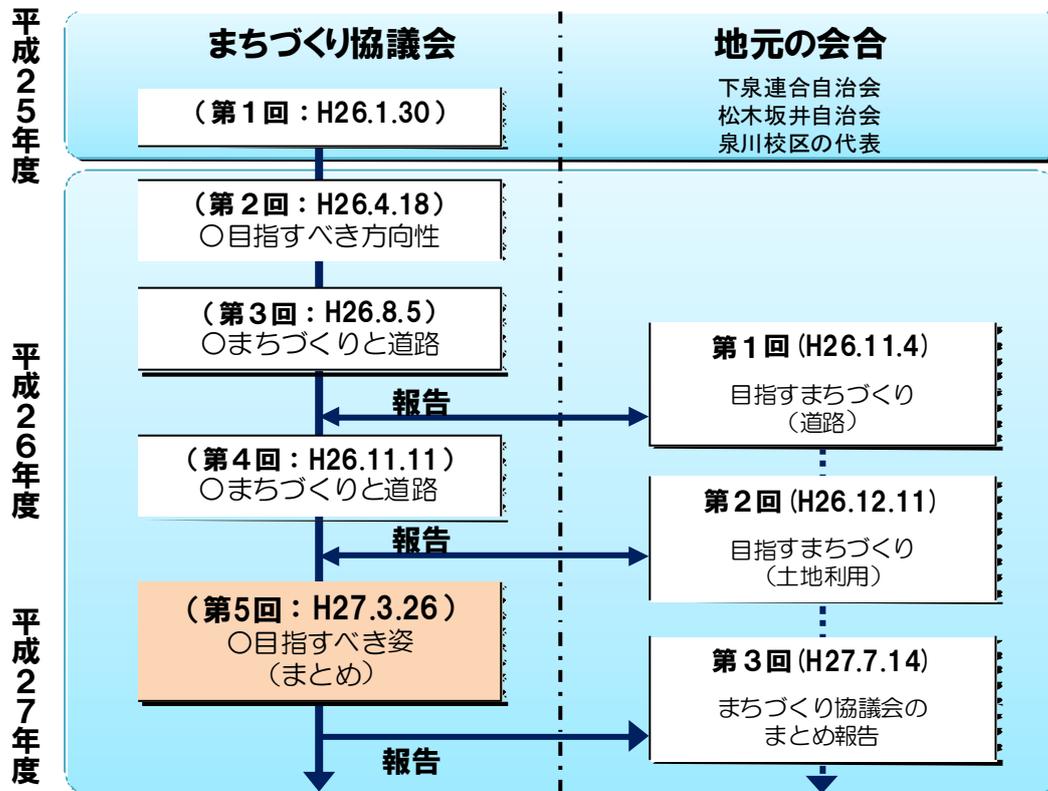
I. 前回(第5回)のまとめ	1
II. 各会、市民の方々からの意見	5
III. 整備計画(案)について	5
IV. 今後の予定	6

平成28年1月15日

I. 前回（第5回）のまとめ

これまでの協議会の流れ

これまで5回の協議会を開催いたしました。第5回目では、それまでの協議会で議論したまちづくりの方向性として、取りまとめをいたしました。

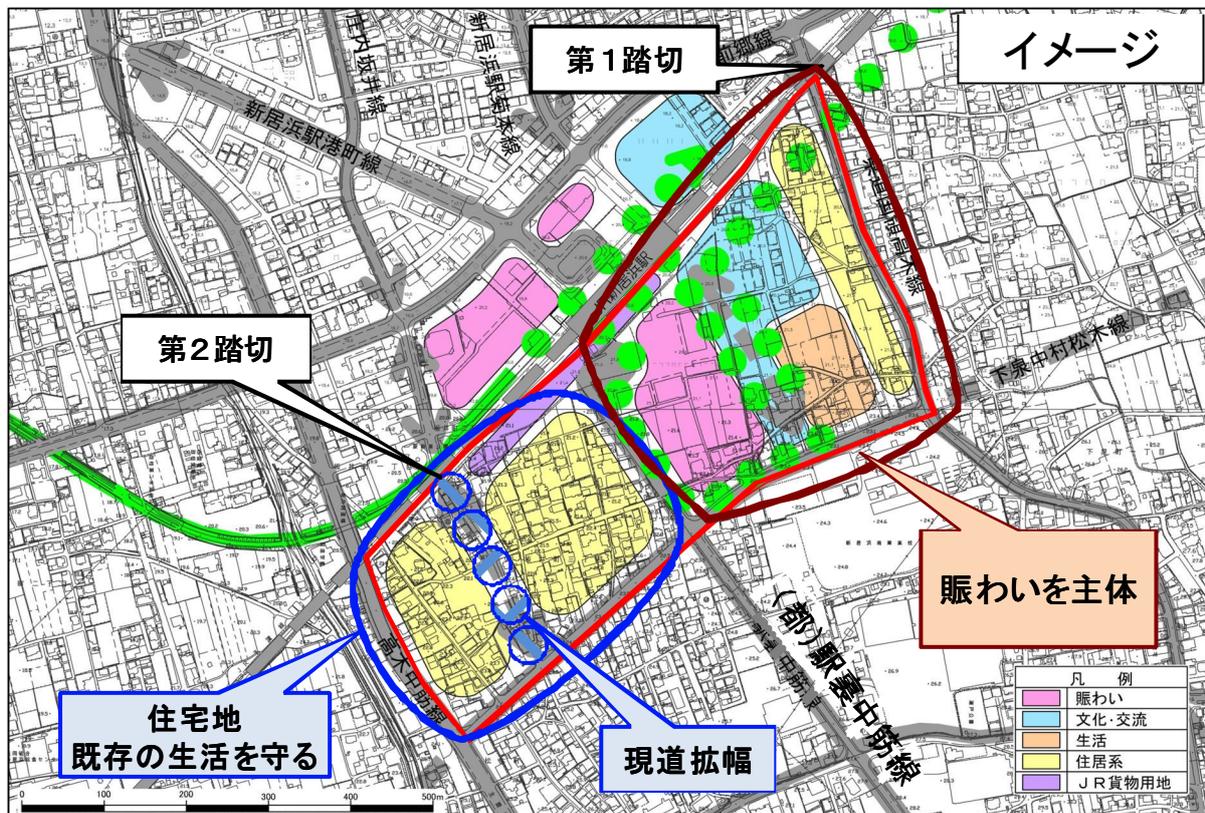


第5回までのとりまとめ

- ① 土地利用について
 - 1) (都) 駅裏中筋線より西側
 - ・住居系を維持
 - ・(市) 宗像筋線の拡幅
 - 2) (都) 駅裏中筋線より東側
 - ・賑わいを主体とした土地利用
- ② (都) 新居浜駅菊本線の延伸について
 - ・事業実施は慎重に判断（用地は確保）
 - ・歩行者等の通路は確保
 - ・踏切の渋滞緩和施策
- ③ JR貨物の貨物ヤードについて
 - ・まちづくりの観点からは、現状維持。

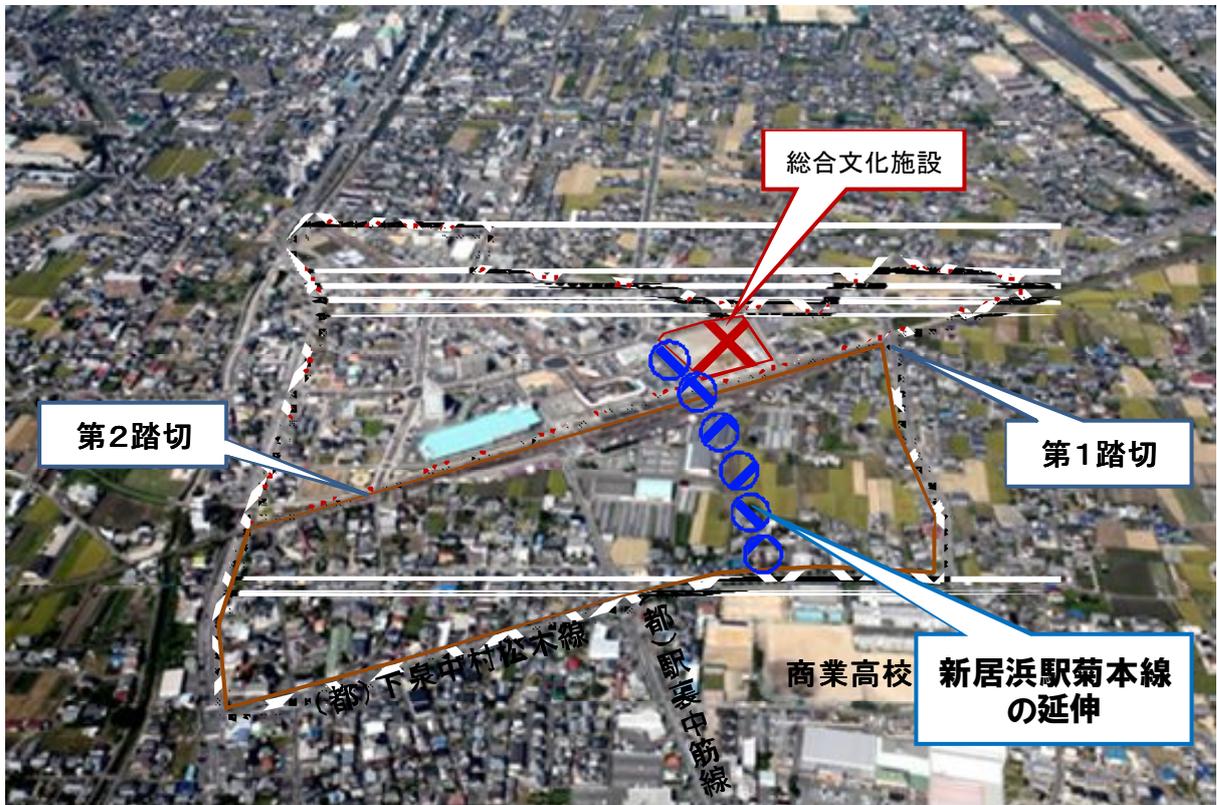
①土地利用について

- 1) 検討地区の西側については、現在の土地利用形態を維持するとともに、(都)庄内坂井線を延伸し、南北市街地の連携を図っていく。
- 2) 検討地区の東側については、「賑わい」を主体とした土地利用を図り、JR新居浜駅の来訪者が滞留・休息できるおもてなしの玄関口として賑わいの創出を図る。



②新居浜駅菊本線延伸について

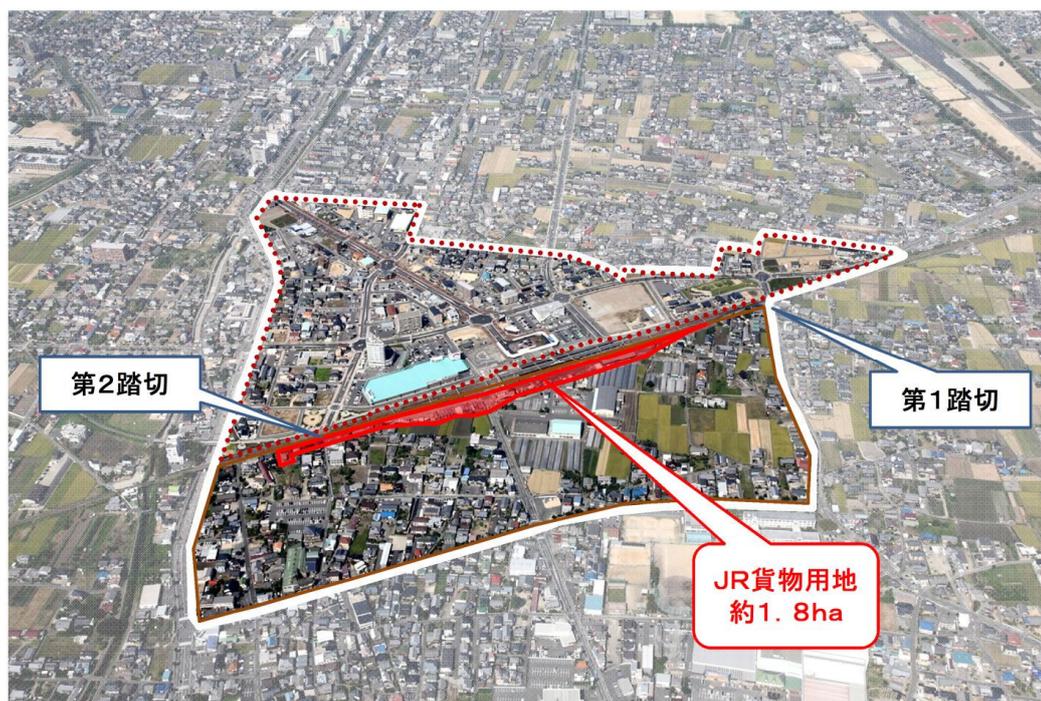
(都) 新居浜駅菊本線の延伸の必要性については、アンダーパスによる土地利用の分断や通過交通の流入、建設コスト等、多くの課題があるため、実施については慎重に判断する必要がある。ただし、将来性を考慮し、該当用地は確保する。



<アンダーパスによる効果等>

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・通過交通がスムーズ 駅周辺を通過する南北交通がスムーズになる。(駅裏中筋線への接続も視野に入れることができる。) ・交通渋滞の緩和 第一踏切、第二踏切の渋滞緩和。危険性の減少 ・南北一体的な利用 歩道整備により駅周辺の一体化も図れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区分断 道路の東西で、地区が分断される。(駅北側(総合文化施設部)も) ・土地利用の障害 土地利用の制限が多くなる。(ルートによると形状も悪くなる。) ・通過のみ 駅南地区は通過するのみとなり、賑わいの創出にはつながらない。(住環境も悪くなる場合がある。) ・費用高い 建設費が非常に高く、それに対する効果が少ない。

③JR貨物の移転について



- ・ JR貨物が駅南の発展を阻害している。

貨物自動車（トレーラー）の出入りが、賑わいとは合わない。
（危険）

駅南地区の賑わい創出を、JR貨物が阻害している。
（景観、土地利用）

- ・ 踏切遮断時間が長い

貨物列車が「本線」と「貨物専用の引き込み線」の間で入替を行うときに、第1踏切及び第2踏切を遮断する。

貨物列車の入替時の踏切遮断は、通常の通過列車時と異なり、1回当たりの遮断時間が長い（5分程度）。そのため、円滑な道路交通に支障が生じている。



JR貨物の貨物基地の建設位置など、物流方面からの観点も必要。
将来構想として、長期的な視野で検討する。

Ⅱ. 各会、市民の方々からの意見

第5回目でとりまとめた協議会のまとめ

第5回目で取りまとめた案を、地元の会合、市議会、政策懇談会、11月29日に開催いたしました「新居浜駅周辺のまちづくりフォーラム」において、皆さんに説明し、意見をいただきました。

意見を取りまとめたものを、資料p 1～4に示します。

Ⅲ. 整備計画（案）について

皆さんの意見を基に、今後、少し踏み込んだ整備案を3案ほど作成し、再度市民の皆さんに説明し、意見をいただくよう考えております。市民の皆さんへ示す3つの案を本協議会において検討していただきたいと思います。つきましては、たたき台として3つの案を作成いたしました。この3つの案をより進化させる意見をいただきたいと思います。

3つの整備計画（案）を資料p 5～7に示します。各の特徴は以下のとおりです。

1案

○商業施設での賑わい案

駅周辺整備の不満理由、駅南に求める施設ともに「商業施設」が特に多い。そのため、商業ゾーンを大きく配置。

既存のJA営農センター及び産直市に加え、約2.3haの商業用地を配置。

2案

○公共施設での賑わい案

建て替えの時期を迎える公共公益施設と公園、現在借地している急患センターを配置。公園には防災機能も加える。公共公益施設が配置される駅の東側には、歩行者通路を確保し、あかがねミュージアムとの一体化を図る。

JA新居浜市については、移転を想定。

3案

○折衷案

公共公益施設と商業施設（約1.3ha）を配置、JA営農センター及び産直市を設ける。

IV. 今後の予定

新居浜駅南地区の整備計画（案）の策定を次のように進めていきたいと考えています。

